Monte Carlo Simurations

Kei Sakamoto

Set the random seed, sample size, and true parametaers(βとsd(u)。populationなのでseでなくsd)

```
set.seed(1234567)
n<-1000
b0<-1; b1<-0.5; su<-2
```

Draw a sample of size n

x <- rnorm(n,4,1) #xまでNormalっていう謎設定。でも密度関数見ればわかるけど他の分布よりはxの持つべき性質としてはダントツで扱いやすい。

u <- rnorm(n,0,su) #ここは当然Normal。テストしないから条件付き期待値がOならNormalの必要ないけど。 y <- b0 + b1*x + u #yの教師データ

estimate parameters by OLS

```
(olsres <- lm(y~x))

##
## Call:
## Im(formula = y ~ x)
##
```

(Intercept) x ## 1.2092 0.4384

Coefficients:

features of the sample for the variance formula:

mean(x^2)

##[1] 16.96644

mean(x)

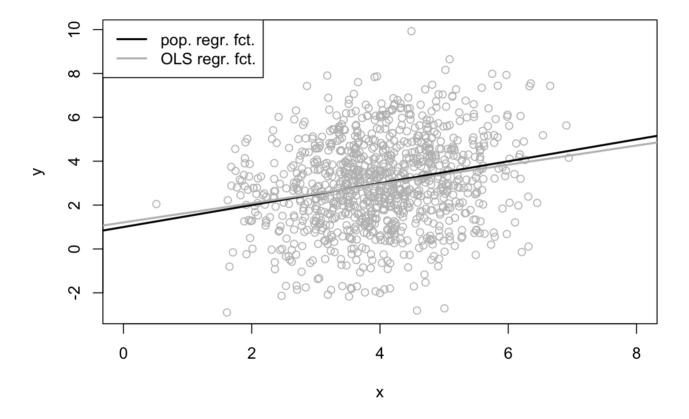
##[1] 3.997003

sum((x-mean(x))^2) #SSTx

##[1]990.4104

2次モーメントの17に近づいているし、 $Var(\beta1_hat)$ の分散4/990にも近づいている。consistentな推定量なので分散が順調に0に近づいている。

Graph



乱数xとuと教師データyの発生のアルゴリズムは知っているんだから、というかそれに従って出したので、OLSには真のパラメータに近いものを叩き出してもらいたいもの。そこそこ精度良し。